

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(1)家庭への支援			担当課	担当課評価
細 施 策	①家庭教育の充実			地域教育支援課	A
施策の内容	家庭の教育力を向上させる必要があることから、乳幼児の親や小・中学校PTAを対象とした家庭教育に関するさまざまな学習の機会を提供します。				
平成26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA家庭教育学級委託事業:54校(延べ事業数272回、延べ参加者数9,125人) ・家庭教育学級運営講座:1回(参加者数:106人) ・保育園家庭教育講座:18回(参加者数:440人) ・幼稚園家庭教育講座:4回(参加者数:148人) ・高等学校家庭教育講座:1回(参加者数:136人) ・登録講師を対象に家庭教育講座に向けての研修会を実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H24	H25	H26	
	幼保高家庭教育講座(回)	22	24	23	
	PTA家庭教育学級委託数(校)	54	54	54	
評価の理由	PTA家庭教育学級については、全54校に委託し、各PTAごとに特色ある家庭教育学級を実施し、家庭の教育力の向上が図れました。また、保育園・幼稚園・高等学校家庭教育講座については、市立保育園・高等学校、私立幼稚園で計23回実施し、参加保護者のみならず保育士・教職員にも好評で、順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	今後も引き続き、市内保育園や幼稚園に家庭教育講座の実施に向けての呼びかけ、家庭の教育力の向上を図ります。				

施策の柱	(1)家庭への支援			担当課	担当課評価
細 施 策	②学童保育の充実			教育財務課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の就労により家庭が常時留守になっている児童を対象に、放課後及び休日等の居場所を確保するとともに、児童の健全育成を図ります。 ・老朽化した学童保育室の保育環境を良くするため、その改善に努めます。 				
平成26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の学童保育室を利用する児童数は2,037人でした。(全児童に占める割合は11.4%、入室を待機している児童はいない) ・老朽化対応として山田学童保育室の改築工事及び牛子学童保育室の改修工事を行い、狭隘化対応として名細学童保育室の改修工事を行いました。 				
成果実績	項目名(単位)	H24	H25	H26	
	年度当初の入室児童数(人)	1,916	1,983	2,037	
	老朽化対応率(全プレハブ室数に占める築30年未満の室数の割合)(%)	75	83	92	
評価の理由	年度当初の入室児童数は増加していますが、申請があった入室要件を満たした児童をすべて受け入れており、児童の放課後等の居場所確保を図ることができました。また、施設の老朽化・狭隘化対応につきましては、おおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	老朽化又は狭隘化した学童保育室については、第三次川越市総合計画実施計画に位置付け改築・改修を行っていきます。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱		(1) 家庭への支援			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①家庭教育の充実	地域教育支援課	A	A	A
	②学童保育の充実	教育財務課	B		
学識経験者等 意見	<p>・家庭教育については、より参加が増えるよう、幼稚園や保育園などにももう少し働きかけて、家庭教育の充実を図っていただきたい。</p> <p>・学童保育については、施設の整備だけでなく、児童を預かる職員の質の向上を図るなど、ソフト面の充実も図っていただきたい。</p>				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(2)地域の教育力の向上			担当課	担当課評価
細 施 策	①地域ぐるみ教育のためのネットワークの整備			地域教育支援課	B
施策の内容	子どもたちが、地域社会で健やかに育ちゆくため、地域ぐるみ教育のためのネットワークを整備し、家庭や地域社会の教育に対する関心と責任意識を高めます。				
平成26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回「川越市地域子どもサポート本部会議:学校・家庭・地域連携推進事業について」(平成26年5月23日実施) ・第2回「川越市地域子どもサポート本部会議:子どもサポート発表会、小江戸見つけ隊について」(平成26年10月23日実施) ・第3回「川越市地域子どもサポート本部会議:「小江戸見つけ隊」作品審査(平成26年11月20日実施) ・第4回「川越市地域子どもサポート本部会議:4ブロックに分かれてブロック協議(委託金、学校応援団消耗品、連携学校数について等) 				
成果実績	項目名(単位)	H24	H25	H26	
	地域ぐるみ教育推進ネットワーク会議等の開催(回)	3	3	4	
評価の理由	「地域ぐるみ教育推進ネットワーク会議」が平成24年度をもって計画通り終了し、引き続き、「川越市地域子どもサポート本部会議」において、地域ぐるみ教育のためのネットワークの整備を進めることができたことから、おおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	今後は、学校・家庭・地域の連携による協働事業として、地域ぐるみで教育を推進するためのネットワークの整備に努めます。				

施策の柱	(2)地域の教育力の向上			担当課	担当課評価		
細 施 策	②学びを支援するシステムの整備			地域教育支援課	A		
施策の内容	子どもたちの生きる力を育むため、学校・家庭・地域の連携を深め、地域ぐるみで学びを支援するシステムとして、子どもサポート事業や学校応援団活動を更に推進し、家庭や地域の教育力を高めていきます。						
平成26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート委員会によるイベント型事業数142件(延べ参加者数:21,076人) ・子どもサポート委員会による学校応援団活動数592件(延べ参加者数:9,227人) ・子どもサポート委員会開催数120回(延べ出席者数:2,632人) 						
指標及び説明	【指標】 ①子どもサポート事業への参加者数 ②学校応援団の活動数			【説明】 ①市内14地区の子どもサポート事業への参加者数 ②市内14地区の子どもサポート委員会が市内小・中学校へ学校応援団として活動する数			
	指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値			
			H22	H23	H24	H25	H26
① 人		11,105	15,409	22,196	33,696	32,848	32,935
② 件	107	138	144	225	569	592	216
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート事業への参加者は、各地区の特色を生かし、子どもたちの体験活動を充実する事業が多かったため、目標値を上回っており、順調に進ちよくしています。 ・学校応援団の活動については、各サポート委員会で広がりを見せており、内容も充実し、順調に進ちよくしています。 						
改善の方策等	持続可能な活動にしていくために、スタッフの世代交代や人材の発掘を支援します。また、各サポート委員会間の情報交換や活動発表を進め、子どもたちの実態に即した活動内容の改善に向けて支援していきます。						

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(2)地域の教育力の向上						担当課	担当課評価
細 施 策	③社会教育関係団体への支援						地域教育支援課	B
施策の内容	子どもたちの学びや体験活動の充実を図るため、PTAや子ども会育成会などの社会教育関係団体の活動を支援します。							
平成26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアリーダーズスクール(第33期生)講座数:5回 受講者数:160人 認定証授与者数:153人 ・ジュニアリーダーズクラブ登録者の割合:82.4%(126人) ・社会教育関係団体等の活動の活性化と充実のために補助金を交付しました。 川越市子ども会育成団体連絡協議会:333,000円、川越市PTA連合会:333,000円 							
指標及び説明	【指標】 ジュニアリーダーズクラブ登録者の割合			【説明】 ジュニアリーダーズスクール認定者のうち、ジュニアリーダーズクラブに登録した児童の割合				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	
	%	82.5	85.7	84.1	89.0	90.8	82.4	
評価の理由	ジュニアリーダーズスクールについては、修了後ジュニアリーダーズクラブに登録した割合は目標値を下回ったものの、認定者の数は昨年を大きく上回り、おおむね順調に進ちよくしています。							
改善の方策等	ジュニアリーダーズスクールについては、認定者が校区ジュニアリーダーズクラブへより多く登録し、ジュニアリーダーとして活動できるよう環境整備や支援体制の充実を図ります。							

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱	(2)地域の教育力の向上				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①地域ぐるみ教育のためのネットワークの整備	地域教育支援課	B	B	
	②学びを支援するシステムの整備	地域教育支援課	A		
③社会教育関係団体への支援	地域教育支援課	B			
				B	
学識経験者等意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート発表会や小江戸見つけ隊の実施は、各地区の特色を出そうとする動きが見えてくるため、今後も続けていただきたい。 ・子どもサポートを担う人材を確保するため、人材育成にも力を入れていただきたい。 				

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(1)生涯学習推進体制の確立					担当課	担当課評価
細 施 策	①生涯学習推進のための拠点施設設置					文化スポーツ部 文化芸術振興課	A
施策の内容	地域振興ふれあい拠点施設に生涯学習センターの設置を進めます。						
平成26年度実績	川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(ウェスタ川越)の中に、生涯学習センターの施設機能をおおむね備えた市民活動・生涯学習施設を設置しました。						
指標及び説明	【指標】 生涯学習センターの設置			【説明】 生涯学習施設(センター)の設置数			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	館	0	0	0	0	0	1
評価の理由	市民活動・生涯学習施設の設置により、目標値を達成し、順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	指定管理者と連携し、市民活動・生涯学習施設の適正な管理運営をしております。						

施策の柱	(1)生涯学習推進体制の確立					担当課	担当課評価
細 施 策	②社会教育職員研修の充実					地域教育支援課	A
施策の内容	市民の多様化する学習要求に応えるため、計画的に専門的な研修の機会を設け、関係職員の資質・能力の向上を図るとともに、学習者の視点に立った学習内容・学習方法の改善・工夫に努めます。						
平成26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 障害者対応事業を実施するための研修会 オリエンテーション 1回(参加者27人) 体験研修14回 参加者のべ24人 社会教育主事講習 職員派遣(1人) 平成27年1月21日(水)～2月27日(金) 38日間 						
成果実績	項目名(単位)		H24	H25	H26		
	研修会参加者数(人)		50	38	51		
	主事講習職員派遣数(人)		0	0	1		
評価の理由	<p>障害者対応事業を実施するための研修会については、従来座学を中心とした講義形式を中心に行っていましたが、今年度は障害者の方との共同体験に重点を置いて研修を実施しました。参加者数も向上し、順調に進ちよくしています。</p> <p>社会教育主事講習については、講習を終えた職員が平成27年度より社会教育主事として発令され順調に進ちよくしています。</p>						
改善の方策等	<p>障害者対応研修については、今後も引き続き多くの方に参加していただけるよう体制整備に努めます。</p> <p>社会教育主事講習については、積極的な派遣に向け、職員への情報提供に努めます。</p>						

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱		(1) 生涯学習推進体制の確立			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①生涯学習推進のための拠点施設設置	文化芸術振興課	A	A	A
	②社会教育職員研修の充実	地域教育支援課	A		
学識経験者等 学意	社会教育職員研修については、障害者の方との共同体験に重点を置いて研修を実施したことは非常に良い取組であるため、今後もこのような新しい方法で充実を図っていただきたい。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(2)多様な学習機会の創設			担当課	担当課評価
細 施 策	①学習情報の提供システム整備			文化スポーツ部 文化芸術振興課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習情報誌「マナビガイド」を作成し、小・中学校、公民館等に配布します。 市のホームページを活用した学習情報の提供を積極的に推進します。 				
平成26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 各種講座や教室等の情報をまとめた「マナビガイド」を毎月作成し、市民に配布する為、文化芸術振興課と地域教育支援課の窓口および本庁舎南側玄関横のパフレットコーナーなど、市内46箇所の公民館等の公共機関に設置しました。また、職員に周知するため各課に回覧用として配布しました。 市のホームページに「マナビガイド」を毎月掲載しました。 市の公式ツイッターへも、「マナビガイド」発行情報を掲載しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H24	H25	H26	
	マナビガイド年間発行回数(回)	12	12	12	
	マナビガイド年間発行件数(部)	3,645	4,175	4,464	
評価の理由	印刷したものが余すことなく有効に活用されるよう、配布窓口や設置部数の見直しを行うとともに、新たに川越まちなかステーションへの配布も行いました。また平成26年度よりツイッターでの情報提供も開始しました。毎月新しい情報を提供できており、おおむね順調に進捗しています。				
改善の方策等	市内の生涯学習に関する学習情報を網羅するため、既存の方法以外の情報入手方法を開拓し、より充実した情報誌の作成を目指します。				

施策の柱	(2)多様な学習機会の創設			担当課	担当課評価
細 施 策	②生涯学習に関する意識調査の実施			文化スポーツ部 文化芸術振興課	B
施策の内容	市民が生涯にわたって学習活動を行いやすい環境の整備のために、定期的な各種調査活動を進めていきます。				
平成26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成4年度から4年ごとに調査を実施しています。 直近では平成25年度に調査を実施しました。 				
成果実績	項目名(単位)	H24	H25	H26	
	調査回数	1	1	-	
評価の理由	平成26年度は意識調査の実施はありませんでしたが、平成25年度の調査内容をもとに、平成27年度実施する生涯学習関連事業の検討や次回調査時の内容の検討を行うことができ、おおむね順調に進捗しています。				
改善の方策等	今後も、効率的な調査方法を検討し、定期的実施していきます。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(2)多様な学習機会の創設						担当課	担当課評価
細 施 策	③町内公民館講座の開設支援						中央公民館	A
施策の内容	地域社会の連帯意識や地域の教育活動の振興を進めるために、自治会単位の公民館講座の開設に対して支援します。							
平成26年度実績	各町内等の公民館において、地域の教育活動の振興や社会福祉の増進に寄与することを目的とする87講座(148,123人)を支援しました。							
指標及び説明	【指標】 町内公民館講座の開設数			【説明】 町内公民館講座の開催希望講座数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	
	講座	69	74	81	85	79	87	70
評価の理由	各町内における公民館活動が活発に行われ、成果を上げており、順調に進ちよしております。							
改善の方策等	今後も各町内において多様な活動ができるよう、町内公民館講座の開設に向けて支援を行っていきます。							

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(2)多様な学習機会の創設					
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価	
			細施策	施策の柱		
	①学習情報の提供システム整備	文化芸術振興課	B	B		
	②生涯学習に関する意識調査の実施	文化芸術振興課	B			
③町内公民館講座の開設支援	中央公民館	A				
学識経験者等 意見	特になし				B	

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(3)社会の変化に応じた学習機会の提供			担当課	担当課評価			
細 施 策	①ライフステージにおける課題の学習			中央公民館	B			
施策の内容	乳幼児の心と体を育むことをねらいとした子育て講座等、生涯の各時期に生じる課題の学習活動の提供に取り組むとともに、更なる学習機会の充実・提供に努めます。							
平成26年度実績	ライフステージにおける課題の学習機会の充実の講座数138講座、参加者延べ人数35,270人 (指標は公民館主催事業への参加者数を記載しているため、現代的課題の学習の参加者延べ人数20,152人、地域教育活動支援の講座参加者延べ人数24,907人、事務支援、事務援助参加者延べ人数8,427人、会議等2,505人を含む)							
成果実績	項目名(単位)	H24	H25	H26				
	参加者延べ人数(人)	37,646	36,845	35,270				
指標及び説明	【指標】 生涯学習事業参加者数 (内訳として、①公民館主催事業参加者数、②地域文化活動のうち、地区文化祭参加者数)			【説明】 公民館主催事業への参加者数 (H22年度より地域文化活動が市長部局に移管されているため、参考として①公民館主催事業参加者数、②地域文化活動のうち、地区文化祭参加者数を表記する。)				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)	
			H22	H23	H24	H25		H26
	人	93,530	98,402	111,700	110,970	111,513	108,030	135,000
	①	71,603	75,876	91,643	90,638	91,107	91,261	103,000
②	21,927	22,526	20,057	20,332	20,406	16,769	32,000	
評価の理由	・ライフステージにおける課題の学習は前年度比4.3%減となっています。 ・22年度からは市長部局へ移行になった地域文化活動を除く。(21年度21,927人) ・23年度からは事務支援、事務援助を新たに追加(23年度9,660人、24年度8,745人、25年度8,370人、26年度8,427人)							
改善の方策等	引き続き各種講座の実施にあたっては、生涯の各時期に生じる課題を取り上げ、充実した学習機会を提供していきます。							

施策の柱	(3)社会の変化に応じた学習機会の提供			担当課	担当課評価
細 施 策	②現代的課題の学習			中央公民館	A
施策の内容	社会的に要請される環境学習、情報学習、人権学習等のような現代的課題の学習活動の提供に取り組むとともに、更なる学習機会の充実・提供に努めます。				
平成26年度実績	現代的課題の学習機会の充実の講座数128講座・参加者延べ人数20,152人 (現代的課題の学習の成果実績は、公民館主催事業への参加者人数に含まれている)				
成果実績	項目名(単位)	H24	H25	H26	
	参加者延べ人数(人)	21,048	20,859	20,152	
評価の理由	講座参加者の延べ人数は、前年度より3.4%減となり、講座開催の延べ回数は、前年度より6.5%減(25年度673回、26年度633回)となりましたが、1講座当たりの参加者人数については、順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	日常生活と結びつく身近な問題や課題を取り上げ、充実した学習機会の提供に努めます。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(3)社会の変化に応じた学習機会の提供			担当課	担当課評価
細 施 策	③地域の教育活動を支援			中央公民館	A
施策の内容	地域で行っている教育活動を支援するための学習活動や情報の提供、事業等への支援に努めます。				
平成26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 市の主催事業及び市との共催事業の講座数292講座、参加者延べ人数24,907人 事務支援、事務援助の団体数50団体、参加者延べ人数8,427人 (地域の教育活動を支援の成果実績は、公民館主催事業への参加者数に含まれている)				
成果実績	項目名(単位)	H24	H25	H26	
	講座参加者延べ人数(講座数・人)	131・20,717	140・21,672	292・24,907	
	事務支援、事務援助(団体数・人)	49・8,745	49・8,370	50・8,427	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 講座参加者延べ人数は前年度比14.9%増です。 市との共催事業は248講座です。(全体の84.9%・前年度比162講座増) 平成26年度からは、公民館登録グループの公開講座を積極的に展開していることから、講座数・人数が増加しています。 				
改善の方策等	引き続き地域の教育活動が活発になるよう、地域教育活動団体の教育事業等を支援・連携していきます。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(3)社会の変化に応じた学習機会の提供				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①ライフステージにおける課題の学習	中央公民館	B	A	
	②現代的課題の学習	中央公民館	A		
③地域の教育活動を支援	中央公民館	A			
学識経験者等意見	<ul style="list-style-type: none"> 講座については、参加者が固定化しないよう、ニーズを把握し、内容等工夫していただきたい。 公民館の運営については、登録グループや地域と密着した運営を行い、地域に還元できる内容を研究していただきたい。 				A

【方向性】 II 一 活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(4)人権教育の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①学校教育における人権教育推進事業			地域教育支援課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における人権教育の一環として、人権作文・人権標語・人権絵画の取組を、年間指導計画に位置付け、計画的に推進します。 ・人権教育推進のため、公民館区人権教育推進事業に係る研究を小・中学校に委嘱し、その実践報告を「人権教育実践集録」として発行します。 				
平成26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・人権文集「あけぼの」作成と文集を活用した授業の推進 ・人権絵画展「いのち・こころを大切に作る絵画展」の開催 3日間 202人 ・人権作文発表(人権教育実践報告会)6人 ・「川越市の人権教育」の中に人権教育推進事業の委嘱館・委嘱校の実践や授業研究会の記録などを「人権教育実践収録」としてまとめました。 				
成果実績	項目名(単位)	H24	H25	H26	
	人権作文・標語・絵画応募総数(点)	783	789	818	
	委嘱小・中学校数(校)	11	11	11	
評価の理由	<p>人権作文・標語・絵画については、優秀な作品を人権文集「あけぼの」に掲載し、人権教育啓発資料として活用できました。</p> <p>「川越市の人権教育」(人権教育実践集録)を人権教育推進資料として活用できたことなど、おおむね順調に進ちよくしています。</p>				
改善の方策等	更に公民館区で学校・家庭・地域が一体となって人権教育の推進に努めます。				

施策の柱	(4)人権教育の充実			担当課	担当課評価
細 施 策	②人権啓発活動の推進			地域教育支援課	A
施策の内容	差別や偏見のない思いやりのある明るい地域社会を築いて行くため、児童生徒、社会教育施設利用者及び一般市民などを対象に、人権啓発活動を通して、人権意識の高揚と差別意識の解消に努めます。				
平成26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・川越市PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会開催 ・川越市人権教育実践報告会開催 ・人権文集「あけぼの」発行 ・人権カレンダー発行 ・川越市人権教育推進協議会広報紙「人権かわごえ」発行 				
成果実績	項目名(単位)	H24	H25	H26	
	PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会(人)	228	237	242	
	人権教育実践報告会(人)	252	261	280	
評価の理由	<p>参加人数は、増加傾向にあります。分科会では、活発な意見交換もあり、充実した時間を過ごすことができました。人権教育啓発資料の発行も確実に行われ多くの児童生徒、保護者、一般市民に活用していただいていることから、順調に進ちよくしています。</p>				
改善の方策等	更に研修会の充実を図り、人権啓発資料の充実にも努めます。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱	(4)人権教育の充実						担当課	担当課評価	
細 施 策	③人権教育指導者の養成						地域教育支援課	B	
施策の内容	職場や地域社会における人権問題の解決を目指して、人権教育指導者養成講座を実施し、各種団体や家庭における人権教育指導者の養成を図ります。								
平成26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館における人権教育指導者養成講座の実施(17公民館で実施 89講座 参加者数3,775人) ・小堤集会所事業:人権教育指導者養成講座の実施(5回 参加者数144人) 								
指標及び説明	【指標】 公民館における人権教育指導者養成講座参加者数				【説明】 公民館主催の人権教育指導者養成講座への参加者数				
	指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値			目標値(H27)		
		人	3,798	H22	H23	H24	H25	H26	4,000
			3,766	3,813	4,000	3,972	3,775		
評価の理由	公民館における人権教育指導者養成講座は、昨年度より参加者数が減少しました。これは、公民館の市民センター化に伴う、公民館職員の仕事内容の変化が影響したと考えられますが、おおむね順調に進ちょくしています。								
改善の方策等	市民センター化への移行期に当たり、人権講座担当者の確保や講座開設・募集等について検討していきます。指導者養成講座では、人権感覚育成プログラムを取り入れた体験型の講座を行ったり、DVDなどの視聴覚教材を取り入れ話し合い型の講座を行ったり、講演会だけでなく参加意欲を向上させるような内容を取り入れるなど、事業の充実に努めます。								

施策の柱	(4)人権教育の充実						担当課	担当課評価
細 施 策	④関係機関・団体等との連携						地域教育支援課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権意識の高揚と差別意識の解消のため、関係機関や団体等と連携した教育活動を推進します。 ・自治会等と連携した教育活動を推進し、地域内の交流を深めるとともに、学習の場としての集会所事業を推進します。 							
平成26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所事業各講座の実施(習字教室24回、カラオケ教室22回、フレンドスクール8回、成人講座5回、女性講座5回、高齢者講座5回) ・心輝く書道展開催 ・集会所ふれあいまつり開催 							
成果実績	項目名(単位)		H24	H25	H26			
	集会所事業講座・教室参加者数(人)		2,222	2,315	2,471			
	ふれあいまつり参加者数(人)		267	238	276			
評価の理由	各講座では参加者の固定化が目立ち参加者数は、ほぼ横ばいでしたが、フレンドスクールは、多くの子どもたちの参加があり、おおむね順調に進ちょくしています。							
改善の方策等	地域内の交流を更に深めるために自治会との連携を密にするとともに、集会所運営委員会、協力委員会で協議を重ね、事業内容等の充実に努めます。							

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯にわたる学習活動の推進

施策の柱		(4) 人権教育の充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①学校教育における人権教育推進事業	地域教育支援課	B	B	B
	②人権啓発活動の推進	地域教育支援課	A		
	③人権教育指導者の養成	地域教育支援課	B		
	④関係機関・団体等との連携	地域教育支援課	B		
学識経験者等 意見	人権教育の充実については、関係機関と協力しながら、今後も進めていただきたい。				

【方向性】 Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(1)身近な学習施設としての公民館の整備・充実			担当課	担当課評価
細 施 策	①公民館の設置			地域教育支援課	B
施策の内容	本庁、出張所区域と中学校区を勘案しながら、未設置地区については、身近な学習施設としての公民館の建設を推進します。				
平成26年度実績	(仮称)西公民館建設推進:検討懇話会の実施				
成果実績	項目名(単位)	H24	H25	H26	
	検討懇話会の開催回数(回)	—	4	1	
	建設検討懇話会の開催回数(回)	8	5	0	
評価の理由	<p>(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進及び霞ヶ関北公民館整備推進については、平成25年度中に地元有識者からなる建設検討懇話会から施設機能についての提言書が提出されました。</p> <p>また、(仮称)西公民館建設推進については、地元有識者からなる検討懇話会から、平成26年6月に建設候補地等に関する提言書が提出されましたので、3公民館の建設・整備事業としては、概ね順調に進ちよくしています。</p>				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進については、平成27年度に基本設計を委託します。 ・霞ヶ関北公民館整備推進については、基本設計に向けての予算確保に努めるとともに、建設予定地の安全管理に努めてまいります。 ・(仮称)西公民館建設推進については、地元有識者による建設検討懇話会から参加要請がありましたので、協力して検討を進めてまいります。 				

施策の柱	(1)身近な学習施設としての公民館の整備・充実			担当課	担当課評価
細 施 策	②既存公民館の整備・充実			中央公民館	C
施策の内容	既存の公民館については、市民が利用しやすい学習施設の充実を図るため、大規模改修工事等整備充実に努めます。				
平成26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事の実施件数0件です。 ・全公民館からの修繕等要望件数70件のうち、修繕実施件数16件の実施です。 ・突発修繕は107件を行っていますので、計123件の修繕を実施しています。 				
成果実績	項目名(単位)	H24	H25	H26	
	修繕等要望件数の実施率(%)	12	37	23	
評価の理由	<p>建築後30年以上の公民館が12館と多く、老朽化した施設や設備の修繕や備品等の購入について、優先順位を定め、執行するよう努めています。しかしながら、突発修繕に追われており、計画的に修繕を行うことができていないことから、進ちよくがあまり順調ではありません。</p>				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ関北公民館は、移転改築のため、現在、検討が進められています。 ・市民にとって、地域の身近な学習施設として利用されるよう努めます。 				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱		(1) 身近な学習施設としての公民館の整備・充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①公民館の設置	地域教育支援課	B	B	B
	②既存公民館の整備・充実	中央公民館	C		
学識経験者等意見	公民館の整備・充実については、公民館のあり方、使い方について、これまでとは違った視点から考えた整備・充実を図っていただきたい。				

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(2)図書館サービス網の整備・充実			担当課	担当課評価
細 施策	①図書館サービス網の充実			中央図書館	C
施策の内容	「図書館サービス網計画」に基づき、市民が身近な場所で図書館サービスが受けられるよう分館整備を推進します。				
平成26年度実績	前年度に引き続き、返却ポストを増設(大東市民センター・平成26年5月7日より)し、返却の利便性を図りました。				
成果実績	項目名(単位)	H24	H25	H26	
	4館延べ開館日数(日)	1,171	1,145	1,175	
	総貸出冊数(冊)	1,920,055	1,815,883	1,845,426	
評価の理由	南部地域の分館建設の見通しが立っていない状況ですが、利用者が利用しやすいよう、平成22年度から、祝日開館の振替休館を廃止して図書館各館の開館日数を増やしたり、資料の貸出冊数の上限を増やしたり、返却ポストを増設するなど、図書館サービスの充実を図っています。				
改善の方策等	分館建設については、今後も状況を注視していくとともに、更なる図書館サービスの拡大に努めてまいります。				

施策の柱	(2)図書館サービス網の整備・充実			担当課	担当課評価			
細 施策	②図書館資料・情報提供サービス機能の充実			中央図書館	B			
施策の内容	図書館サービスに関する多様な市民要望に応えるため、各分野の資料収集や学習・研究情報の提供サービス機能の充実に努めます。							
平成26年度実績	蔵書数は、中央図書館が497,716冊、西図書館が164,451冊、川越駅東口図書館が73,235冊、高階図書館が100,913冊で、4館合計では836,315冊となっています。							
指標及び説明	【指標】 蔵書数		【説明】 川越市立図書館の所蔵資料数(図書だけでなく視聴覚資料なども含む)					
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値				目標値(H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	
	冊	799,883	805,270	812,526	820,239	827,797	836,315	860,000
評価の理由	平成26年度実績は836,315冊で、平成26年度想定目標値に対して76%の達成状況となり、おおむね順調に進ちよくしています。							
改善の方策等	全館が連携し、引き続き、蔵書の充実に努めます。							

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(2)図書館サービス網の整備・充実						担当課	担当課評価
細 施 策	③図書館を活用した学習活動の推進						中央図書館	C
施策の内容	生涯にわたる学習活動の充実のため、市立図書館の資料だけではなく、県立図書館、相互利用協定の図書館、大学や学校図書館との連携・協力の拡大を図り、図書館のネットワークを活用して学習活動を支援します。							
平成26年度実績	県立図書館、相互利用協定の図書館、大学や学校図書館との連携・協力を図り、更なる拡大のため市内大学図書館1館と連携を調整しました。							
指標及び説明	【指標】 大学図書館との連携				【説明】 市内の大学図書館との相互協力校数			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値					目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26	
	校	1	1	1	1	1	1	2
評価の理由	市内大学図書館1館との連携を調整しましたが、環境が整わず実施に至っていないため、進捗はあまり順調ではありません。							
改善の方策等	今後、市内の大学と拡大を含め積極的に協議検討していきます。							

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(2)図書館サービス網の整備・充実					
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価	
			細施策	施策の柱		
	①図書館サービス網の充実	中央図書館	C	C		
	②図書館資料・情報提供サービス機能の充実	中央図書館	B			
③図書館を活用した学習活動の推進	中央図書館	C				
学識経験者等意見	・返却ポストについては、特に小さい子どもがいる親にとって、近隣にあると利便性が図られるため、新しい施設が設置されたとき等に増設していただきたい。 ・雑誌スポンサー制度を活用して、雑誌の充実を図っていただきたい。					

【方向性】 II 一 活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(3)博物館の整備・充実						担当課	担当課評価
細 施策	①展示機能の充実						博物館	B
施策の内容	常設展示の見直しを行い、新たな学術成果やより学びやすい展示手法を展示に反映できるよう研究を進め、展示機能の充実を図ります。							
平成26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示の見直しについては、職員間で具体的な検討を進めました。 ・展示としては、企画展「絵図で見る川越」、特別展「柳澤吉保とその時代」、収蔵品展「暮らしと収納」、新作名刀展を開催しました。 ・博物館の入館者数は、98,205人で前年度比約7.5%の増加となりました。 							
指標及び説明	【指標】 博物館の入館者数				【説明】 博物館の年間入館者数			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値					目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26	
	人	89,022	77,163	90,746	94,318	91,357	98,205	100,000
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示の見直しについては、職員間で展示内容の具体的な検討を進めておりますが、事業着手時期が具体化されていないため課題が残るものの、年間入館者数については、梅雨時を除き年間を通して多く、特に秋の美術館等との共催の特別展で多くの入館者があったため、おおむね順調に進ちよしています。 							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示の見直しについては、具体的な検討を引き続き継続し、今後スムーズに設計・工事へ移行できるように準備を進めます。 ・企画展の内容については、市民の関心・興味を把握し、時機を見据えたテーマが設定できるよう工夫していきます。また他団体等との共催・共同企画も積極的に進めます。 							

施策の柱	(3)博物館の整備・充実						担当課	担当課評価
細 施策	②郷土資料の収集・保存						博物館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・川越の歴史と文化に係る資料収集に努めるとともに、その保存と活用を図ります。 ・資料を保存する収蔵庫については、収蔵能力が不足してきたため効率的な収蔵保管に努めるとともに、将来的な収蔵システムやスペースを検討します。 							
平成26年度実績	平成26年度は購入資料4点、寄贈資料169点を受入れ、収蔵資料の累計が37,746点となりました。また、静岡県在住の個人から寄贈された川越市関連資料を整理し「収蔵文書目録(13)」を作成しました。							
指標及び説明	【指標】 博物館の収蔵資料点数				【説明】 博物館収蔵資料の累計点数			
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値					目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26	
	点	35,850	35,972	36,644	37,031	37,573	37,746	40,000
評価の理由	資料収集については、収蔵スペースの不足のため大型民具に限って制限していますが、収蔵資料は全体として着実に増加しています。また、収蔵品展を開催し活用が図られているため、おおむね順調に進ちよしています。							
改善の方策等	郷土資料は、現地保存ができない場合には博物館で寄贈・寄託により受け入れる必要があります。引き続き効率的な収蔵に努めるとともに、新たな収蔵スペースの検討を進めます。貴重な資料については、購入できない場合、寄託による収集を積極的に進めます。							

【方向性】 II 一 活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(3)博物館の整備・充実						担当課	担当課評価
細 施 策	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化						博物館	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民の多様な学習要求に対応できるよう、講座・教室など教育普及事業の充実を図ります。 小・中学校との連携を進め、学校の教育課程に位置付けた博物館活用の充実を図ります。 							
平成26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 大人向け事業の参加者数は1,573人、子ども向け事業は2,016人で、総計3,589人でした。 教育活動の一環として博物館を利用した学校は、市内延べ93校・7,674人、市外265校・25,318人の総計358校・32,992人でした。市内幼稚園として、1園・77人が利用しました。 							
指標及び説明	【指標】 ①博物館の講座・教室の参加者数 ②教育課程に位置付けた博物館活用の学校数			【説明】 ①博物館主催の講座・教室への参加者数 ②小中学校・高校・大学の博物館活用の年間学校数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	
	① 人	3,194	2,970	3,000	3,776	3,691	3,589	3,400
② 校	268	275	324	321	338	358	300	
評価の理由	講座・教室の参加者数は前年比で約3%減少しましたが、子ども向けの講座・教室については前年比9%増加し、全体として目標値を上回っており、また、学校利用についても、県内の小学校を中心に博物館利用数が伸び、目標値を大幅に上回っており、順調に進ちよくしています。							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 多くの講座等で応募者が定員を上回っていますが、内容を精査し、市民ニーズに配慮するとともに、広報活動の充実を図ります。 小中学校の校外学習の場として、先生方に博物館をはじめとする市内の資料の効果的な活用方法を提案するため、学習カードや学校利用マニュアルの見直しと充実を図ります。 							

施策の柱	(3)博物館の整備・充実						担当課	担当課評価
細 施 策	④博物館・蔵造り資料館の整備						博物館	B
施策の内容	社会教育施設、文化財及び観光拠点施設としての機能を充実させるため、博物館・蔵造り資料館の整備を図ります。							
平成26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 博物館は、主に老朽化に伴う施設修理(冷温水機、屋根及び樋等)を行い、博物館機能を維持するための整備に努めました。 蔵造り資料館は、平成26年度より耐震化事業に着手し、耐震診断を実施しました。 							
成果実績	項目名(単位)	H24	H25	H26				
	施設・設備の修繕件数(件)	21	18	31				
評価の理由	博物館については機能を維持するために応急的な修繕を実施してきましたが、未だ老朽・損朽による修繕必要箇所を多く抱えており、施設整備が遅れているものの、蔵造り資料館については耐震化事業が始まり、26年度は耐震診断調査が実施できたため、おおむね順調に進ちよくしています。							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 博物館の機能を十分に発揮するためには、施設の適切な維持が必要なため、老朽化が著しい箇所から順次修理を進めます。 蔵造り資料館については、26年度から始まった耐震化事業を進め、公開に適した施設の機能を確保します。 							

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱		(3) 博物館の整備・充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①展示機能の充実	博物館	B	B	B
	②郷土資料の収集・保存	博物館	B		
	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	博物館	A		
	④博物館・蔵造り資料館の整備	博物館	B		
学識経験者等 学意 識見	<p>・収蔵スペースについては、分散したかたちではなく、統一したかたちで収蔵できる収蔵センターのようなものを作っていただきたい。</p> <p>・博物館、蔵造り資料館、本丸御殿の展示については、新しい展示の方向性を研究していく組織体制を作っていただき、埋蔵文化財についても、市民に還元できるような展示等の方向性を考えていただきたい。</p>				B

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱	(4)高等教育機関等との連携・協働の推進		担当課	担当課評価			
細 施策	①川越シティカレッジの開催 (平成24年度より川越大学間連携講座として開催)		文化スポーツ部 文化芸術振興課	A			
施策の内容	市民の高度で体系的な学習要求に対応するために、近隣大学(市内4大学・市外1大学)との連携により市内各大学施設等を活用し、市民のリカレント教育の機会の拡充を図ります。						
平成26年度実績	市内の4大学すべてと連携講座を実施し、251人の参加がありました。東洋大学との連携講座のテーマは「心身の健康度をアップする～ポジティブ心理学～(5回)」で受講者は93人、東邦音楽大学は「楽器何でも百科(4回)」で41人、東京国際大学は「おカネについて考える(3回)」で32人、尚美学園大学は「川越の歴史めぐり-史跡と石造物から見る川越-(3回)」で85人の参加がありました。						
指標及び説明	【指標】 川越シティカレッジの開催 (平成24年度より川越大学間連携講座の開催)	【説明】 川越シティカレッジの年間開催数 (平成24年度より川越大学間連携講座の年間開催数)					
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値				目標値 (H27)
	回	5	H22 6	H23 6	H24 2	H25 4	H26 4
評価の理由	平成23年度までの川越シティカレッジでは、5大学6キャンパスで各1講座を目標に実施しましたが、平成24年度からは、市内の4大学との連携講座として実施しています。平成26年度は、市内のすべての大学との連携講座を開催できたので、順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	各大学と連携を密にし、よりよい講座を提供できるよう努めます。						

施策の柱	(4)高等教育機関等との連携・協働の推進		担当課	担当課評価
細 施策	②大学と連携した人材の育成		文化スポーツ部 文化芸術振興課	C
施策の内容	市内各大学との連携により、地域の課題に対応した専門的な知識・技能やマネジメント能力を有する人材を育成します。			
平成26年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年度から21年度は尚美学園大学と連携し「地域活動コーディネーター養成講座」を開催してまいりました。 平成22年度からは、市民活動団体「川越シニア大学小江戸塾」と連携して「ふるさと塾」を開催しています。「ふるさと塾」は、地域の生涯学習ボランティアとして公民館や学校での体験学習・支援活動に関わるシニアの人材育成を目的としています。平成26年度は、「ふるさと塾」の講座は全12回行い40人が受講しました。講座の一部は大学施設を利用し大学教授を講師として実施しました。 川越市と市内大学との連携に関する基本協定に基づき、大学のもつ研究・教育機能との連携を進めるため、東洋大学理工学部と2回連携会議を開催し、連携の可能性を検討しました。 			
成果実績	項目名(単位)	H24	H25	H26
	地域活動コーディネーター養成講座開催数(回)	—	—	—
	ふるさと塾開催数(回)	1	1	1
評価の理由	「ふるさと塾」の講座の中で一部大学と連携した講座を設けましたが、地域の課題に対応した専門的な能力を有する人材の育成にはいたらず、進ちよくがあまり順調ではありません。			
改善の方策等	大学との連携を進める中で人材育成に関する講座の開催等を検討します。また、市民活動・生涯学習施設において指定管理者が実施する事業についても、大学と連携し、人材の育成を視野に入れた事業の実施について提案・検討します。			

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 3 生涯学習環境の整備・充実

施策の柱		(4) 高等教育機関等との連携・協働の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①川越シティカレッジの開催 (平成24年度より川越大学間連携講座として開催)	文化芸術振興課	A	B	B
	②大学と連携した人材の育成	文化芸術振興課	C		
学識経験者等 意見	大学と連携した人材の育成については、ボランティアとしての活動内容や、大学が提供できる育成を考慮し、工夫していただきたい。				